

自力のこころをふりすてて

領解文(42)の中のご文です。他力の教えのポイントをわかりやすく示したことです。「自力をすてる」ではなく、「自力のこころ」をふりすててと記されているのです。「俺がした。私がやった」の思いを徹底して捨てるのが要であると蓮如さまからご教示していただきました。何事によらず私が事を処するのは当然ですが、静かに考えてみますと私一人では何一つ事は解決出来ないことに気付かされます。他力(無限の関わり)の中でのみ生かされている私を見出すばかりです。

隣地ビルの外観です

1月末に外観は竣工しました。日照は特に問題なし(東側)ですが、風向きは若干影響ありそうです。墓地に立ってみると時の流れの中に都心の墓地の姿を感じます。

今月の安樂寺伝道掲示板
人生における 苦しきは
すべて 如来の
激励(ハゲマシ)である
曾我 量深

領 解 文

もうもろの雑行雑修自力のこころをふりすてて、一心に阿弥陀如来われらが今度の一大事の後生御たすけせうらえとたのみもうしてせうろう。たのむ一念のとき、往生一定御たすけ治定とぞんじ、このうえの称名は、ご恩報謝とぞんじよるこびもうしせうろう。この御ことわり聴聞もうしわけせうろうこと、ご開山聖人ご出世のご恩、次第相承の善知識のあさからざるご勸化のご恩と、ありがたくぞんじせうろう。

このうえは、さだめおかせらるる御おきて、一期をかぎりまもりもうすべくせうろう。

